

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年9月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4671500090号
法人名	医療法人一桜会
事業所名	さくらのお家よしだ
所在地	鹿児島市東佐多町269-2 (電話) 099-245-5500
自己評価作成日	平成24年7月20日(金)

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年8月7日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「生き生きと日々健やかに楽しい暮らし」の理念の下、穏やかに生活して頂けるよう日々努めております。特に力を入れている点ですが、季節を感じての生活を送って頂けるように努め、季節に応じた活動をしております。たとえば、ちまき作りやらつきよ漬け、梅干し作り、酢味噌作りなどはもちろんですが、節句・七夕飾り・お節作り・敬老会・クリスマス会等など・・・昔から継承されている行事ごとを大切にしております。これらの事が生活の中で自然な事として表出され、さらにこの事が回想法に繋がっていると思われ、利用者の方々に嬉々とした表情で参加して下さっております。それに加え、当ホームは庭がとても広くて、その事がアピールできます。広い庭でご家族や地域の方々と共に運動会や夕涼み会、お茶会など、ホーム内とは又違った雰囲気を楽しんで頂いております。利用者の方も好きな時に散歩や、グランドゴルフ等それぞれに楽しまれております。また当ホームは景色がとても良く、利用者の社交場であるリビングのソファから居ながらにして見える窓からの風景は大パノラマのようです。田んぼの様子だけでも四季を感じる事が出来ます。(春にはれんげの花・田植え・青く育つ稲・黄色に色づく稲穂)その上、ソファに居ながらにして見守る事の出来るツバメの子育てや巣立ちの様子・・・。季節の話題には事欠きません。利用者のみなさんが、ゆったり、のんびりと過ごして頂ければと思っております

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは鹿児島市中心部から車で15分程度の位置にありアクセスもよく、のどかな田園地帯に立地しており、鳥のさえずりや蝉の声が聞こえる閑静な環境にある。地元住民との交流も日常的にあり、野菜の差し入れや訪問による三味線、太鼓演奏なども柔軟に受け入れている。リビングや居室からは近くの山々が四季こもごもにその表情を変える様子が利用者や家族の心を和ませている。また、リビング、居室などに利用者や職員の手作りの品々があり、家庭的な雰囲気の中、気持ちをさらに和ませている。行事や季節に応じたメニューには、菜園の採れたて新鮮野菜やラッキョウ漬け、梅干し、酢味噌などが食卓を賑わせている。

当ホームは2ユニットあり、かたや“ゆったり”もう一方は“のんびり”と称し互いのユニットをそれぞれの利用者が行き来して交流しており、利用者は両職員とも顔なじみの関係である。「生き生きと日々健やかに楽しい暮らし」という理念実現のため、毎日の健康管理、医療との連携により安心して生活できるよう支援している。また、利用者と家族の外出を支援する中、ホームでもドライブやお弁当を持参しての外出や外食など社会交流も図っている。高齢化による重度化や看取りに向けた方針を明確に示し、かかりつけ医等関係者との意向を確認しながら本人や家族の意向を踏まえ、安心して希望に沿った最期を迎えられるように、意思確認をし情報を共有しながら取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念のサブタイトル「住み慣れた町で文化的な生活」の下に理念の共有に努め、吉田文化祭作品出品や福祉フェスタ参加等実践に繋げている。	基本理念に「いきいきと、日々健やかに、楽しい暮らし」を掲げ、サブテーマは「住み慣れた地域で文化的な生活」を法人・職員が同じ思いで目標に事業所と地域の関係性を重視して理念を大切にしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方々との挨拶は勿論の事、幼稚園の運動会や地域の行事の鬼火炊き等に参加の声掛けを頂き、交流を図っている。	小学生と利用者との交流を促進しながら地域で認知症ケア啓発を図っている。地域行事の鬼火たき見学、文化祭へ出品参加している。竹の子など住民から提供を受け料理に活用し、利用者にも喜ばれている。施設周辺の草掃いは自主的に実施している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人と共同で「認知症サポート養成講座」の担い手として参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回行われる運営推進委員会にて、現在の状態、当該ホームの行事など報告し、また、意見を聴くことでサービスに活かしている。	定期的に民生委員、自治会長、幼稚園長、消防、行政、旧町議、近所住民などに参加してもらい開催している。会議の内容の記録物は、玄関前に掲示して訪問者が目通しできるよう配慮している。	

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進委員として隔月に参加して下さり、行政の立場から貴重な意見を頂いている。</p>	<p>定期的な介護相談員の訪問を受け情報交換によりサービスの向上に繋げている。また、生活保護受給の利用者もいて、福祉事務所の担当者との協力関係もできている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>委員会があり、スタッフは身体拘束の内容を正しく理解しており、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>複数の委員会があり、リスクマネジメント委員会では担当委員からホームの職員にも月1回のミーティングの中で情報を共有している。職員全員で身体拘束の無いケアに取り組んでおり、「ことばの教育」にも力を入れている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に研修を行い、ミーティング時に報告し、スタッフそれぞれが注意を払い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護や成年後見利用などの機会はない。</p>		

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や改定の際は口頭にて文書内容の説明をさせて頂き、不安や疑問点を軽減できるよう努めている。また、スタッフも情報を共有している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会などを開き、意見を述べる機会を作り、要望をお聞きし、運営に反映させている。特に面会時はリラックスした雰囲気の中で、対話に努め、かねての思いを自然な形で引き出す事に努めている。	年2回の家族会や面会時、行事の機会を利用して家族や介護相談員を介して意見、要望を引き出すようにしている。遠方の家族などには、定期的に文書や写真を添えるなどして情報提供しているが、意見があった場合はミーティングで解決策を議論し解決に向け真摯に取り組みサービスの向上につなげている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の主任会やミーティングなどで、職員の意見を述べる場を設け、運営に反映させている。	職員はそれぞれの委員会に属しており、役割と職員個別の年間目標がある。人事効果システムがあり半年に1回程度個別面接をおこなっている。ホームの休憩室の掲示版には介護スキルアップ向上（資格取得含む）のための研修案内が紹介され職員の意識向上を図っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度があり、面接など行い、個々の努力や実績など、ある程度把握できていると思われる。各自が向上心をもって、研修など自主的に参加している。		

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内で基礎研修（就業一年未満対象）・専門研修（その他）を行い、研修を受ける機会が設けられている。法人外研修も可能な限り、受ける機会がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者自体は、自ら指示はないが、スタッフ独自で交流を図り事後報告する事で代表者は、受容し称賛して下さる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人との面会を通じ、本人の希望に耳を傾け、安心した生活を確保できる体制づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との信頼関係作りが利用開始に必要な不可欠な事と認識しており、納得して頂けるようコミュニケーション作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始の段階で、まず、必要としている支援を話し合い、早急に必要な内容をケアプランにのせている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	業務に没頭する事無く自然体で毎日の何気ない対話に努め、共に過ごし支えあう関係作りに努めている。		

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事など一緒に過ごせる時間を作ったり、家族と外出・外泊できるように家族と共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人等、馴染みの方が気軽に面会に来られる環境作りに努め、馴染みの人や場所を把握している。	入居前の情報を家族から得て行きつけの美容室や墓参り、友人宅の訪問や近隣住民の来訪などは積極的に歓迎している。家族とも連携を取りなじみの場所への外出も個別に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は常に利用者間の関係を把握し、利用者の環境にアンテナを張り、トラブルを未然に防ぐ努力をするなど、お互いが楽しく生活できるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了しても、御家族が来られたり、こちらからお見舞いに行くなどしている。また、書類の事後フォロー等の支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活の中での会話で本人の希望や意向を汲み取り、把握に努めている。家族の協力の下、外出等もある。しかし、帰宅したい方など困難な場合もあり、そこは家族本位になっている。	本人がいかに生活したいか、何をしたいかなど認知症の進行、利用者の高齢化により明確に意思表示ができない場合など本人の希望や意向をくみ取り、アイコンタクトやうなづきで確認して職員と家族が利用者の思いを共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活の対話の中で本人または家族からの情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの暮らし方や生活のリズム（食事・睡眠・排泄・生活習慣）の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフによるカンファレンスなど行い、又ご家族との連携を図りながらご本人が生活しやすいように介護計画を作成している。	月1回程度カンファレンスを開催し、本人や家族には日々の関わりの中で、その思いや希望を聞き取り、プランに反映させるようにしている。アセスメントツールに工夫を凝らし分析してケアの実践、評価をおこない目標の期間ごとに見直しをし、利用者主体の暮らしを反映した介護計画を作成している。	ケアプランへの家族の協力及び理解を得る努力が一層期待される。

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきなど業務日誌や個別ケア記録に記載し、職員間で共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	当該ホームは認知症対応型共同生活介護の為、多機能のサービスは限られており、柔軟な支援が出来ているとは思われない。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	吉田文化祭に作品出展したり、地域の鬼火焚き参加するなど、地域の方々と交流しながらまた、その事を話題に取り入れるなど豊かな暮らしに繋げている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれの利用者の方々がかかりつけ医をお持ちで、医師との連携を図りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホーム職員が受診同行しており、受診の結果は家族に報告している。協力病院の定期的な訪問診療・往診もある。	

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎朝の状態報告、週三回の医療連携体制により適切な支援を受けられる体制をとっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者の方が入院した際速やかに状態報告の連携を図り、安心した入院生活が出来るように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や、終末期のあり方について、入居の段階で重要事項説明書の中で説明している。早い段階から、主治医・看護師・職員など、家族との話し合いを行うように努め重度化、若しくは終末期の支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居の際、「重度化対応に係る指針」「看取り指針」を重要事項説明書にて説明の上、利用者、家族に同意をもらっている。また、重度化した場合や、看取りについてはその都度会議を開催しチームで取り組むように努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生・急変に備え基本的な流れをマニュアル化する事で戸惑う事がないようにしているが、定期的な訓練は行っておらず、今後その取り組みが必要である。</p>		

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災訓練や月一回のスタッフ同士で避難訓練シュミレーションを行い、避難ルート確認を行っている。地域の方にも協力を頂ける体制がある。</p>	<p>夜間想定 of 災害訓練の実施、訓練は年2回実施。スプリンクラー、自動通報装置の設置もあり運営推進会議の中でも消防関係者から指導を受けている。水や簡易コンロなどの備蓄もあり、水害を想定して高台の竹工場を避難場所に指定するなど協力体制もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、配慮しながら言葉かけをするよう、心がけている。常に言葉かけに慣れてしまわないよう、各自反省している。	接遇マナーについては入職時の初任者研修（基礎研修）でおこなっている。特に排泄については、夜勤者の異性介助は、本人、家族への説明と同意を得て支援している。また、排泄の失敗など他利用者への配慮を怠ることがないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活援助の中で日々コミュニケーションをとり思いや希望が自然と表出出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人が出来る範囲で自分の生活を段取り、そのペースを作っている。100%ではないがその中で一日の過ごし方の支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	掛かり付けの美容院へ出かけられたり、ホーム内でおしゃれ染めやカットをし、おしゃれをして頂いてる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえや、台拭き、片付など、一緒に家事活動を行っている。	利用者の個別性を重視し、野菜作り、ラッキョウ漬け・梅干し作りなど希望に応じて支援している。菜園の旬の野菜で季節感を堪能したり、行事食なども視覚や気分の高揚、食欲増進に繋がるよう献立を工夫している。	

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人、食事量や水分摂取量を記録し、スタッフ間で情報を共有している。不足分は気に掛け、代替えなどで補えるよう援助している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けにて一緒に洗面所に立ち、口腔ケア介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人お一人の状況に合わせて、トイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っている。	さりげなく言葉をかけ、トイレ誘導をおこない排泄の自立に向けた支援をおこなっている。業務日誌に排泄の有無などを記載し、個々のパターンに応じた個別の支援をおこなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には繊維性の食物を摂って頂ける様、献立やおやつに配慮している。また、適度な運動の声掛けをし、排便の促しに心がけている。		

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者の希望や体調その日の気分出来るだけ合わせて入浴を楽しむ事が出来るように援助している。	曜日は決めずに毎日入浴を支援している。入浴ができない時はトイレに常備してある清拭タオルで清潔保持に努め、出来るかぎり入浴を楽しんでもらえるよう職員が交代で声かけや時間を工夫するなど配慮している。入浴剤の使用や菖蒲湯など季節感も取り入れている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リビングのソファや居室など、ご自分の過ごしたい所で自由にその日を過ごして頂いている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理票を活用し誤薬等防止のため2名での確認作業を行っているまた定期的に薬剤師との情報交換も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に応じた行事やピクニック・ドライブなど楽しみごとの支援を行っている。また、個々の生活にも合わせ、気分転換の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>手作りのお弁当持参で戸外に出かけ季節を感じて頂けるように支援している。また利用者の方も家族と出かけられる事もある。</p>	<p>春の花見、ソーメン流し、外食など弁当持参で出かけたりドライブに行くなど年間を通して取り組んでいる。また、家族との外出の機会や協力体制もあり連携を図っている。日常は、散歩、グラウンドゴルフ、菜園や花壇の水かけなど利用者の主体的な取り組みを支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を使う事は普通の事とスタッフは捉えている。使用時にご家族との連携をとりながら情報を共有している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけたいと希望があれば、その都度対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下には文化祭出展作品を飾り、玄関には季節の花を飾るなどしている。また、その事を日常生活の中で会話の中に取り入れ、精神の安定に繋がるよう配慮している。</p>	<p>開放感にあふれた立地にあり自然の採光や空気感が心地よく、共有の空間には季節の花々や調度品が並べられ利用者の居室入口にミニ七夕飾りが飾られ短冊には本人の願いごとが書かれている、そんな居心地の良いホームでゆっくりと時間が流れ利用者はリラックスできている。</p>	

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングやダイニング、それぞれの居場所があり、共用空間の中で一人になれる場所がある。また、気の合った利用者間で、それぞれの居室に訪問し、対話してコミュニケーションを図っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人使い慣れた物を居室に持ってきて頂いている。御家族の写真などを置き心地良く過せるように工夫している。</p>	<p>ベッド、タンス、テレビ、仏壇（遺影）、鏡台、神棚など使い慣れたものが持ち込まれ、なじみの生活空間を演出して居心地の良い生活スペースになっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>お一人お一人の状況に合わせて、日常生活が安全で自立に繋がる工夫をしている。例えば立ち上がりがなんとか出来るが滑り易い人にはマットを敷くなど・・・</p>		

**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームさくらのお家よしだ 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない